

臨床研究に関する情報公開

渋川医療センターでは、下記の臨床研究の情報を公開しております。

研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、研究への情報利用についてご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、各研究の研究責任者または、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 超音波装置を用いた上肢疾患の定量的評価の試み

[研究責任者] 加家壁正知

[研究の背景] これまで腱鞘炎や腱付着部炎さらには拘縮に対する客観性のある数値化され定量化された検査法はありません。近年、整形外科領域でも解像度の向上に伴い動的評価も可能となる超音波診断がすすんでおります。整形外科以外の領域で特に肝臓や乳腺で利用されている超音波剪断波エラストグラフィーにより組織の硬さの定量化が可能となります。これにより定量化された指標を作成し、整形外科領域の診断の向上そして今後発展していくと考えられる AI や遠隔診断にも有用となります。

[研究の目的] ばね指などの手の腱鞘炎、テニス肘や肩関節周囲炎などの関節周囲の腱付着部炎、更にこれらの疾患が進行した筋関節拘縮に対して剪断波エラストグラフィーを含めた超音波画像からその特徴の数値による定量化を試み健常者及び病状による差を検討します。

[研究の方法]①腱鞘や腱付着部の健常者における超音波剪断波エラストグラフィーのデータは存在しないため、20歳以上の各年代の上肢疾患の明らかな既往のない健常群のデータを作成します。②ばね指・ドケルバン腱鞘炎などの腱鞘炎、テニス肘・ゴルフ肘などの上腕骨内外上顆部の腱付着部炎や肩関節周囲炎患者、またこれらの病態が進行し可動域低下や拘縮をきたしている患者などの初診時のデータと治療後の変化を経時的に計測し、初診時のデータは健常群と比較し、治療経過に伴うデータは疼痛などの症状との関連を前向きに検討します。

●研究期間:倫理審査委員会承認後～2026年3月31日

[個人情報の取扱い] 本研究にかかわる関係者は、研究対象者に個人情報について適応される法令、条例を遵守します。利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[利益相反] 研究に係わる利益相反はありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口(連絡先)】

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター

〒377-0280

群馬県渋川市白井383

電話 0279-23-1010(代表)

FAX 0279-23-1011

部署: 整形外科

氏名: 加家壁正知